
上場企業から見た資産運用業界への期待

2023年2月3日
株式会社 日立製作所
取締役会長 代表執行役
東原 敏昭

1. 日立のI R活動

1.1 主なIR活動

ステークホルダーの皆さまに日立の理解を深めていただくために様々な情報を開示

主要なIRイベントと頻度

活動	頻度
決算発表	4回／年
中期経営計画説明会	1回／年
Hitachi Investor Day	1回／年
機関投資家・アナリストとの個別ミーティング	500回以上／年
その他説明会・スモールミーティング	10～20回／年
CEO同席の個別ミーティング	1～2回／年
マネジメントロードショー	2回×4地域／年
格付年次レビューミーティング	1回×3社／年
事業所見学会	随時
統合報告書	1回／年
IRウェブサイト	随時

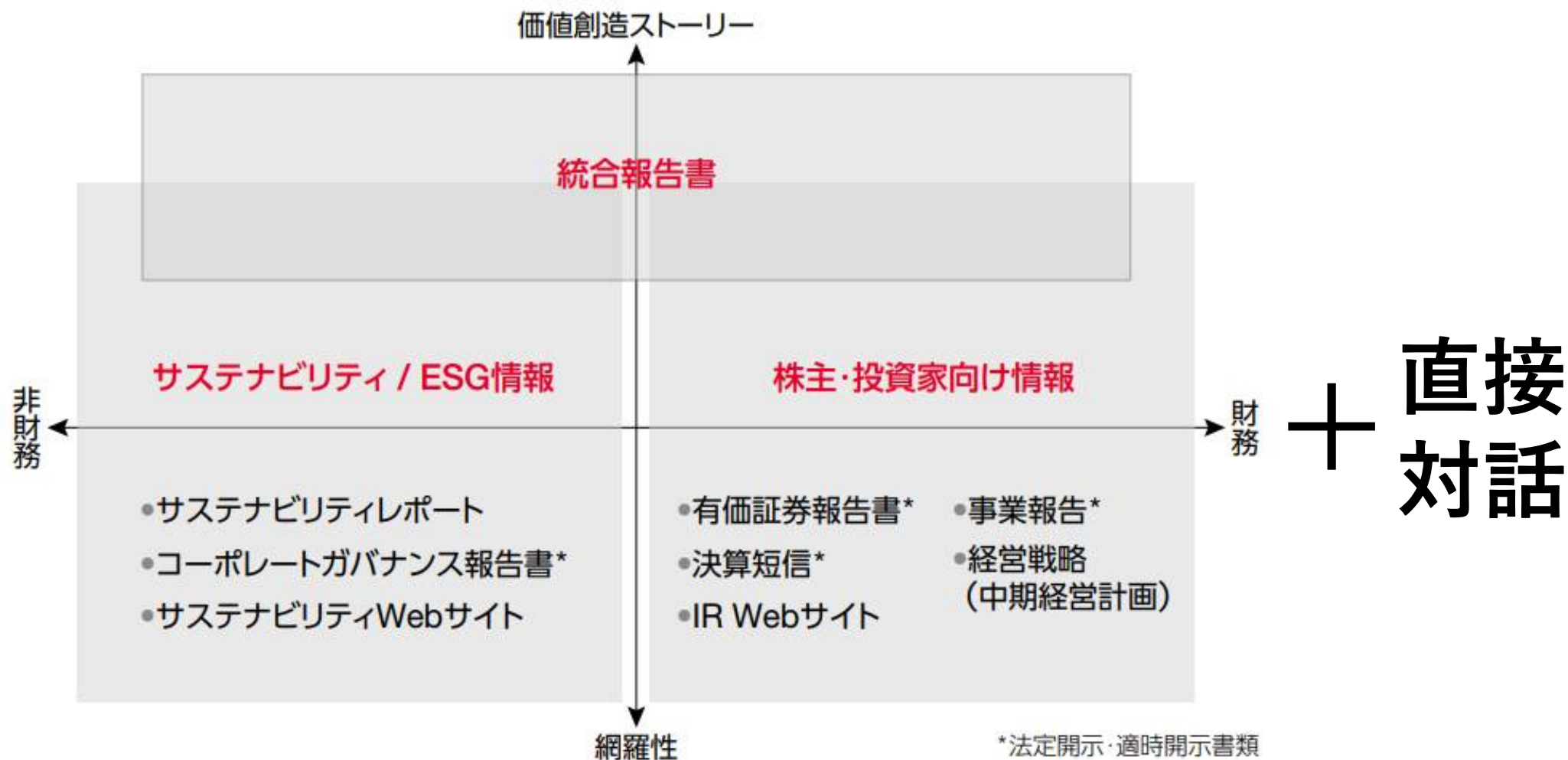
人財戦略説明会（2022年10月）



研究開発・知財戦略説明会（2022年12月）



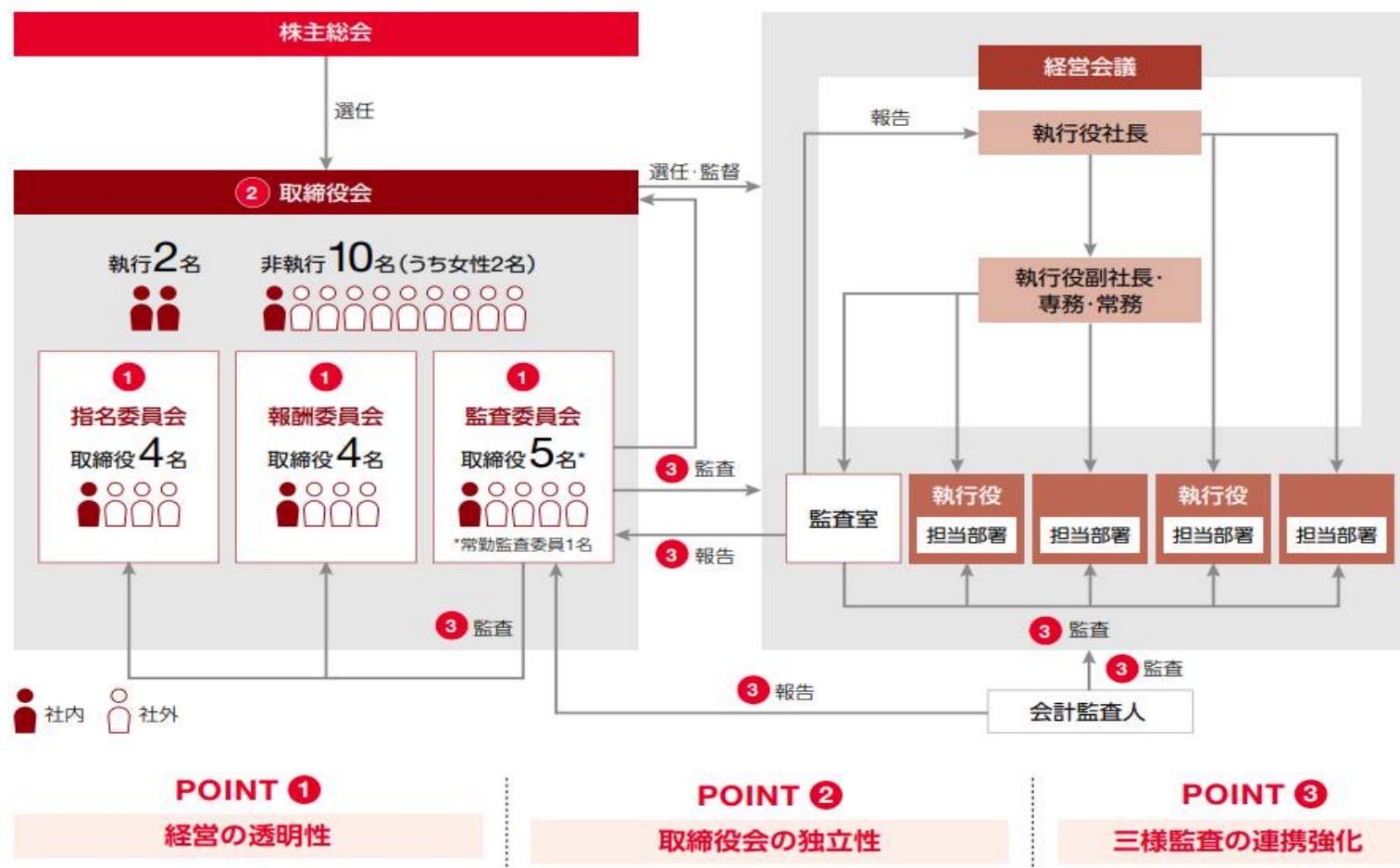
1.2 各種開示情報の体系



2. 日立の取締役会

2.1 取締役会の位置付け

取締役と執行役がお互いを信頼・尊重し、一丸となって会社を成長させる



2.2 取締役の構成

取締役の過半数を社外取締役に（2012年6月～）

●各分野における豊富な経験や識見を経営に反映

●監督と執行の分離の更なる明確化

取締役会の構成	2011年6月(13名)	2022年6月(12名)
社外取締役	 4名	 9名
社内取締役(非執行)	 7名	 1名
社内取締役(執行役兼務)	 2名	 2名

  : 外国人取締役   : 女性取締役

現社外取締役のバックグラウンド

井原 勝美 企業経営	R・ヴェンカテyson 企業経営	C・キャロル 企業経営	菅原 郁郎 行政分野	J・ハーラン 企業経営
L・ペントランド 法務・企業経営	山本 高稔 企業経営	吉原 寛章 コンサル	H・ルードヴィツヒ 企業経営	

2.3 各委員会の構成

- 指名、報酬委員会の委員長を社外取締役にて(2014年6月～)
- 監査委員会の委員長を社外取締役にて(2016年6月～)

委員会	社外取締役	取締役
指名委員会	井原勝美 、シンシア・キャロル、 吉原寛章	東原敏昭 (取締役会長 代表執行役)
監査委員会	吉原寛章 、井原勝美、菅原郁郎、 ヘルムート・ルートヴィツヒ	関秀明
報酬委員会	山本高稔 、井原勝美、ジョー・ハーラン	小島啓二 (執行役社長兼CEO)

(注) **赤**は委員長

2.4 事業ポートフォリオの見直し（時系列）

低収益事業の構造改革と注力事業への集中投資



2.5 外国人取締役

グローバルな視点と多様な価値観を経営へ反映

キャロル取締役 (2013年6月～)	● 元英国アングロ・アメリカン社CEO ● グローバルに事業展開している大手鉱業会社の経営者の経験と見識	
ハーラン取締役 (2018年6月～)	● 元ダウ・ケミカル社バイスチェアマン兼CCO ● グローバルに事業展開している化学品メーカーにおける企業経営分野の豊富な経験と見識	
ペントランド取締役 (2015年6月～)	● 元ノキア社チーフリーガルオフィサー、現ペイパル社 ● 国際的な大企業の法務担当役員として培った企業法務やコーポレート・ガバナンス分野における高い見識	
ルートヴィッヒ取締役 (2020年7月～)	● 元シーメンスCIO ● ソフトウェア分野および産業分野での幅広い経験と見識をもち同社のデジタルトランスフォーメーションを強力に推進	
ヴェンカテサン取締役 (2020年7月～)	● マイクロソフト・インドIA社会長などを歴任。約15年にわたるグローバル企業での経営の経験と見識 ● 現在もユニセフにおいて若者への教育などに尽力	

2.6 事業ポートフォリオの見直し（売上の分類）

データを活用する社会イノベーション事業に注力、売上の30%相当の事業を入れ替え

●日立グループ離脱・持分法適用会社化

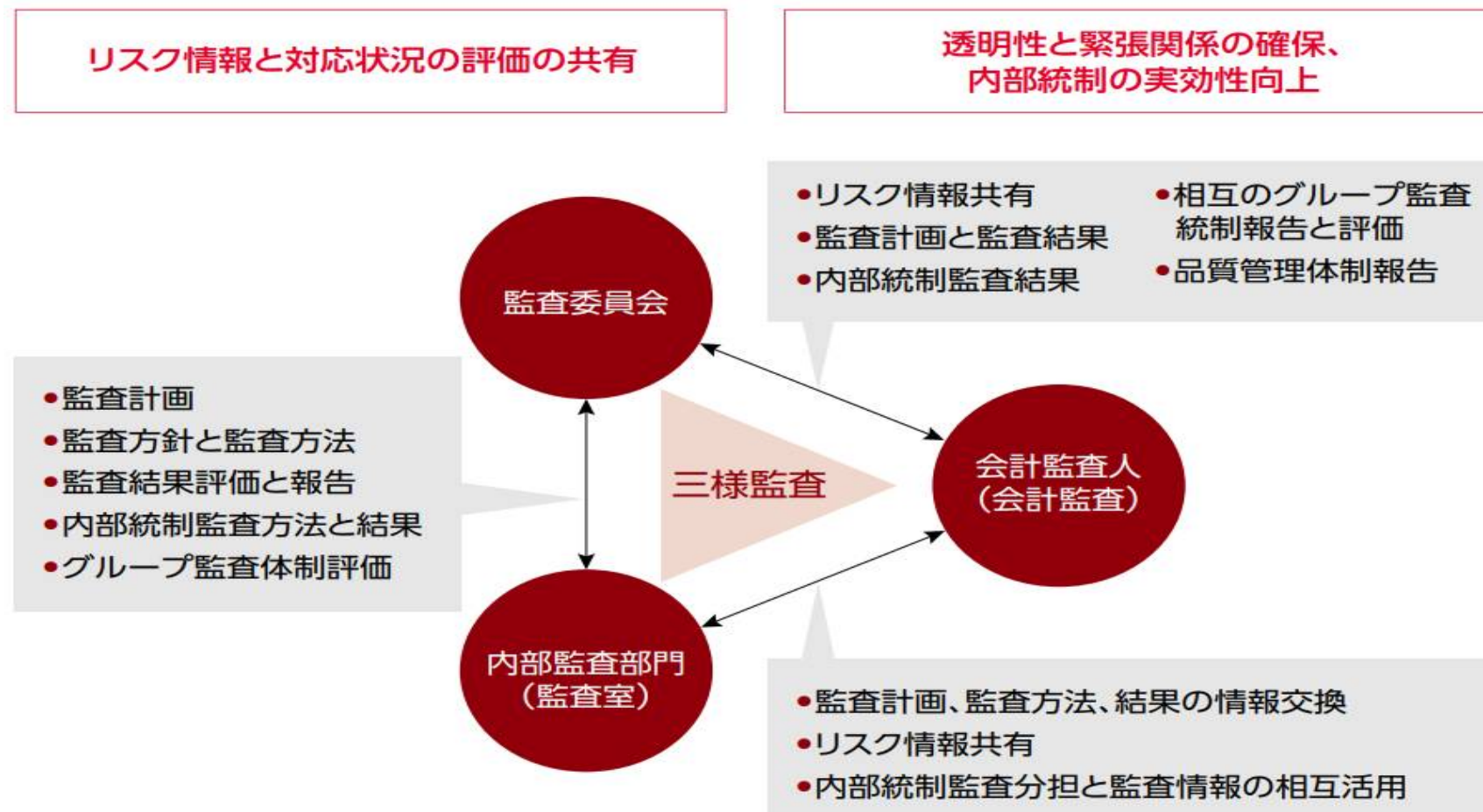
		年間売上高(概算)
火力発電事業	火力発電設備	5,100億円
日立マクセル	電池・小型家電	1,500億円
空調事業	空調設備	2,000億円
日立物流	ロジスティクス	6,800億円
日立キャピタル	リース	3,700億円
日立工機	電動工具	1,800億円
クラリオン	カーナビ	1,500億円
日立化成	高機能材料	6,800億円
画像診断	画像診断設備	1,400億円
合計		30,600億円

●買収・完全子会社化

		年間売上高(概算)
Ansaldo STS /Breda	鉄道信号・車両	2,500億円
Sullair	空気圧縮機	500億円
シャシー・ブレーキ・インターナショナル	自動車ブレーキ	1,200億円
JR Automation	ロボティクスSI	700億円
日立ハitek	計測器・製造装置	7,000億円
ABB (Power Grid)	電力グリッド	13,000億円
ケーヒン/ショーワ /日信工業	自動車・二輪部品	8,000億円
GlobalLogic	デジタルエンジニアリング	1,000億円
合計		33,900億円 (日立ハitek除き26,900億円)

2.7 監査制度（三様監査）

監査委員会、内部監査部門、会計監査人の連携強化、内部統制の実効性向上

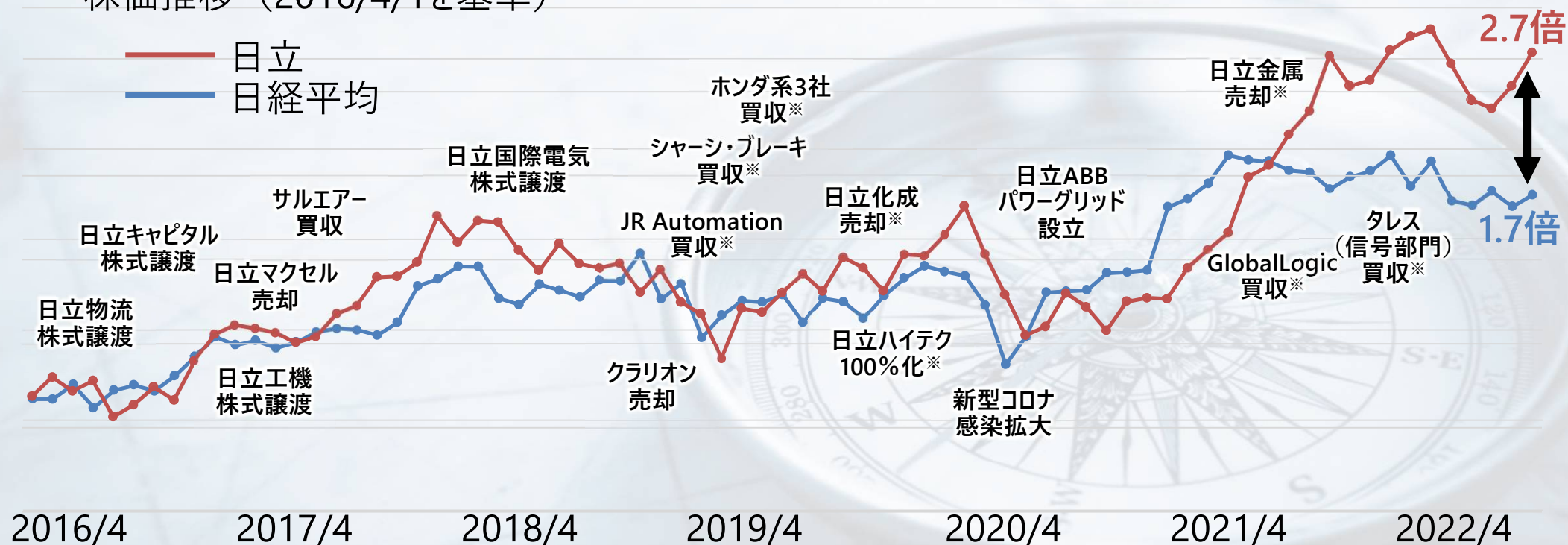


3. 資産運用業界の皆さまへ

3.1 市場の評価

事業の方向性が理解され、計画を着実に実行してきた実行力と結果に対する信頼感で、2021年度からマーケットは日立の評価を変えた

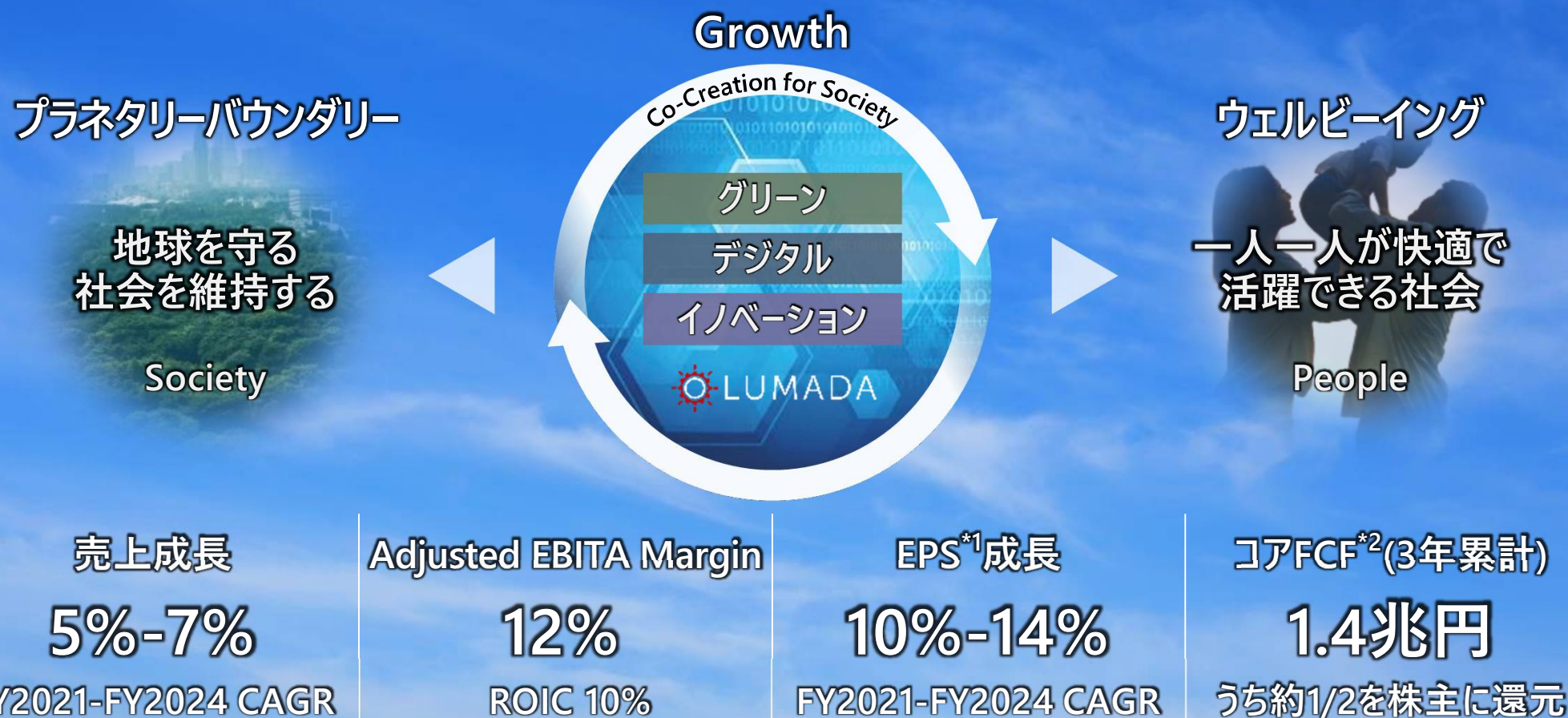
株価推移（2016/4/1を基準）



※発表

3.2 2024中期経営計画目標

データとテクノロジーでサステナブルな社会を実現して人々の幸せを支える



*1 自己株式取得を含む *2 コアFCF = 営業CF - 設備投資

3.3 日立の創業と企業理念

HITACHI
Inspire the Next

企業理念

「優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献する」

日立創業の精神

和 ・ 誠 ・ 開拓者精神



創業者 小平浪平



Hitachi Social Innovation is
POWERING GOOD